

# 輪島市黒島(石川県)

## (1) 保存地区の概要



街道沿いの町並み

地区名 輪島市黒島

種別 船主集落

面積 約20.5ヘクタール

選定年月日 平成21年6月30日

特徴

輪島市黒島伝統的建造物群保存地区は、能登半島、輪島市の西南に位置し、海岸段丘上に細長く形成されている。江戸後期から明治中期にかけて活躍した北前船の船主や船頭・水夫が多く居住した集落で、今でも昔ながらの街割がよく残されている。平入・妻入の主屋が入り交じる一方で、黒釉薬瓦に格子、下見板張りといった要素が町並みに一定の統一感をもたらしている。

## (2) 保存地区のあゆみ

平成18年度(2006) 能登半島地震発生

「輪島市復興計画」に黒島地区の方針として重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指すことが位置づけられる



平成19年度(2007)

住民の有志により「黒島地区まちづくり協議会」が発足

黒島地区伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催

調査に着手

平成20年度(2008)

「輪島市伝統的建造物群保存地区保存条例」の制定

平成21年度(2009)

重要伝統的建造物群保存地区の選定

平成22年度(2010)

修理・修景事業の開始

平成23年度(2011)

「黒島地区まちづくり協議会」が平成23年度まちづくり功労者として国土交通大臣表彰を受ける

「黒島地区まちづくり協議会」から「黒島地区まちなみ保存会」に改称

旧角海家住宅の復原工事が完了し公開を開始



平成28年度(2016)

旧角海家住宅が重要文化財に指定される

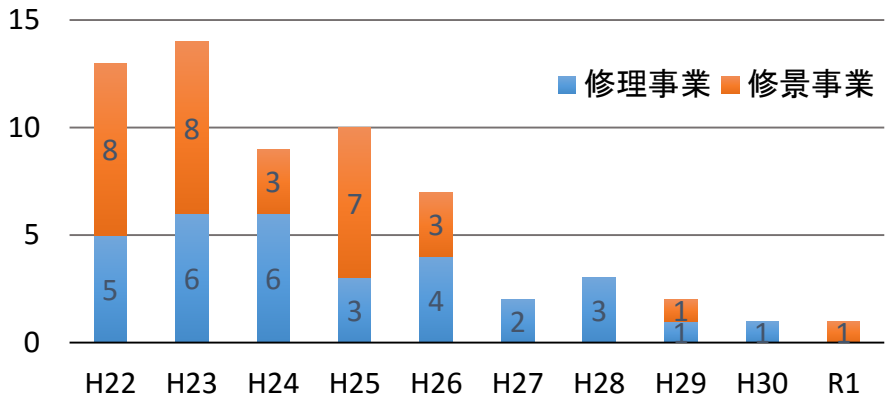
# 輪島市黒島(石川県)

## (3) 保存地区の保存と整備

### ● 修理修景事業の実施

- ・能登半島地震の復興にあたり修理修景事業を活用
- ・多くの経費が必要となる土蔵の修理も多数行われた
- ・修景事業は主に外観修景や板塀の新設が行われた

保存修理事業の推移



【修景事業の事例】



【修理事業の事例】



